

平成 28 年度 地域自主活動グループ活動報告「板橋区の蝶を調査する会」

◆代表者名： 柏原 建樹

◆メンバー名：長澤 寿子、荘司 洋一、神山 健次、浅原 熙、山下 直也、小野 恭子、梅田 美亜、
桜井 義一、佐藤 陽子、山田 隆、川口 孝子、児嶋 眞作、坂本 滋、塩田 哲英、
柏原 建樹、柏原 桂子、関 加代子

◆活動状況

回数	開催日(曜日)	時間	参加者数	回数	開催日(曜日)	時間	参加者数
1	3月20日(土)	10:00~12:30	7	7	8月6日(土)	09:00~12:30	6
2	4月9日(土)	10:00~13:00	8	8	9月10日(土)	09:00~12:30	13
3	5月14日(土)	09:00~12:30	19	9	9月11日(日)	09:30~12:00	39
4	5月22日(土)	09:30~12:00	37	10	10月10日(月)	09:30~14:00	12
5	6月11日(土)	09:30~11:30	6	11	11月5日(土)	09:30~12:30	8
6	7月10日(日)	09:00~13:00	7	12	3月25日(土)	10:00~12:30	14

3月～11月、毎月第2土曜日に蝶の観察会を開催しました。今年は赤塚公園、赤塚城址、赤塚植物園、荒川河川敷、光が丘公園、石神井川沿い(加賀二丁目)を観察しました。2月に開催された「環境なんでも見本市」に初めて参加しました。5月と9月に開催されたエコポリスセンター主催の「蝶の一斉調査会」に協力しました。8月末～9月末に板橋区立リサイクルプラザで蝶の写真と標本を展示しました。

今年も引き続き、蝶の成虫の他に、卵、幼虫、蛹の観察にも力を入れました。蝶観察会の結果はエコポリスセンターのサイトに掲載させて頂いております。板橋区以外の地域の観察も実施しました(5月・6月 所沢、7月 八ヶ岳山麓)。

◆1年間の観察結果

毎月の観察会の他に、メンバーが個人的に観察を行っています。平成28年度は板橋区内で45種類の蝶を観察しました。観察結果の概要は次のとおりです。(「板橋区蝶観察結果 2016年」をご参照下さい)

- (1) モンシロチョウ、ヤマトシジミ、ナミアゲハ、キタキチョウ、クロアゲハ、アオスジアゲハは観察する機会が多い種類でした。ツマグロヒョウモンとアカボシゴマダラは引き続き多く観察されました。ダイミョウセセリ、オオチャバネセセリは観察出来ませんでした。スジグロシロチョウは3回とやや観察回数が増えました。
- (2) 昨年に引き続き赤塚城址でウラナミアカシジミを観察しました。クロコノマチョウは赤塚公園、光が丘公園、中台3丁目で観察しました。観察場所が増えています。
- (3) 当会のメンバーが光が丘公園でサトキマダラヒカゲの産卵を目撃。卵を飼育し幼虫、蛹となりました。
- (4) 当会のメンバーが5月に高島平でアサギマダラを捕獲しました。この時期に東京でアサギマダラが観察できたことは珍しいことです。写真撮影後、放蝶しました。

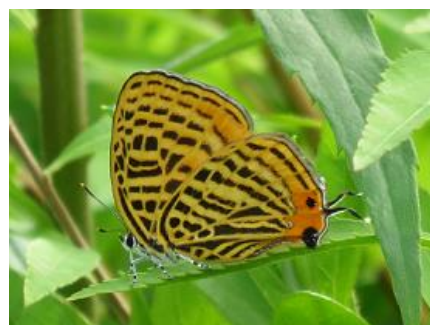
板橋区以外では下記観察会を開催しました。

- (1) 5月と6月に所沢市の早稲田キャンパス付近でホソオチョウの観察を行いました。
 - 5月：アオスジアゲハ、スジグロシロチョウ、コジャノメ、クロヒカゲ、ダイミョウセセリ他。テングチョウの幼虫を観察しました。
 - 6月：ホソオチョウ夏型、ジャコウアゲハ、ヒオドシチョウ、イチモンジチョウ、アカシジミ、ウラナミアカシジミ、ミズイロオナガシジミ、ウラゴマダラシジミ他。
- (2) 7月に八ヶ岳山麓・入笠山に蝶の観察に行きました。アサギマダラ、クジャクチョウ、メスグロヒョウモン、ジャノメチョウ、ウラジャノメ、オオミドリシジミ、ヒメキマダラセセリ等40種類を観察しました。

◆活動風景



アサギマダラ♂



ウラナミアカシジミ



クロコノマチョウ♀



サトキマダラヒカゲ幼虫



初夏の蝶一斉調査会(2016年5月22日)



秋の蝶一斉調査会(2016年9月11日)

◆その他(他の観察員に向けて一言、感想など)

板橋区の蝶の観察を始めてから12年目となりました。その間に54種類の蝶を観察しました。板橋区は緑が多く、又、荒川河川敷が存在することから観察できる昆虫の種類が豊かです。一方、河川敷の改修工事や開発により蝶の棲息する環境が変化し、観察できる蝶の数が減少することがあります。これからも、蝶の観察と同時に食草の分布等蝶の棲息状況を調べ、多くの方に板橋区の蝶について知って頂くお手伝いをしたいと考えております。